

## 福岡市の富山さん、4月から



# 広告マンから助教授に

広告のマーケティングプランナーから国立大学の助教授に。広告代理店の西広(本社・福岡市)に勤務する富山祥瑞さん(四巴)が、4月から愛知教育大学(愛知県刈谷市)の美術教育講座で学生らにデザインを教えることになった。「今までの自分の積み重ねをそのまま生かすだけ」と気負いはない。

## 愛知教育大でデザイン講座

富山さんは一九八三年に東京造形大学デザイン学科を卒業後、西広に入社。広告の企画だけでなく、企業のシンボルマークのデザイン、分譲マンションの商品化計画など幅広い分野で活躍してきた。

十五年ほど前から、持ち前のデザイン力を生かして文房具の豆知識をまとめたイラストシリーズを発行。そのうち約五十点は「東京国際文具フェア」に委嘱出品したり、テレビ番組「TVチャンピオン」の文房

## 大学院で2年受講 「民間の感覚生かす」

具通選手権に出演したこともある。

一九九六年には仕事の傍ら、「今までの広告代理店における開発の蓄積を系統立ててまとめてみたい」と九州芸術工科大学大学院の社会人大学院生に。「西洋美術史」や「造形論」などを受講し、二年間で「物事を観察する着眼点を養った」。

富山さんは「広告から教育というところへ変わるようだが、自分にとって仕事の中身は同じ。むしろ民間企業出身という普通に近い感覚で、新たなデザインの風を送りたい」と抱負を語った。